

Catch the trigger by the  
toe



ことり

## A winter day

---

透き通る呼吸と  
煙る髪  
仄かな香りが  
遅れて届く

目の前にある  
遠い憧れ

わずかの寂寥  
わずかの矜持  
すべては秘密の裡

# Courage

---

大丈夫

大丈夫

大丈夫

3回つぶやいて、確認

可能性を信じ

目標を見上げ

己を信じ

己を超える

## Coffee, the magical

---

Drip, drip, drop

Drip, drop out

チョコレート色の透明な液体には、魔力が宿る

芳香の拡散

温度の電波

そして

覚醒する僕

## Dreams come true

---

なやみ

ないて

やんで

たおれる

自分への甘さと、ミルクの優しさの違いに気付く

なやんでも

ないても

やんでも

たおれても

それでも諦めきれぬ

夢の続きを

実現するために

いま一步の勇気を

## Insecure

---

すべての不安は、自分の中に

目隠

耳栓

猿轡

孤独な僕には

冷静な思考

知ること覚える不安と

判ること消える不安

ほら

もう大丈夫

# Butterfly

---

変わりたい  
その意志が  
変身へのスイッチ

0から1へ  
飛翔  
そして  
祝福

## Dance with me

---

秋の始まり

晴れた空

グラウンドの砂埃

サークルを形成するのは

大人と子どもの中でゆらぐ男女

数をかぞえ、確認

どうか、曲が終わるまでに

漸近

接触

離脱

残ったのは

茜の空

ラインの消えたグラウンド

高3の秋

受験前夜



## Oh my god

---

この身を投げ出して  
神様に  
食べられたいと願った

それ程までに  
一途な気持ちだったのに  
神様は  
そっぽを向いて  
お眠りになった

# Beautiful fu\*\*in' day / a gift from heaven

---

鬱  
鬱  
鬱  
鬱  
鬱  
鬱  
鬱  
鬱  
躁  
鬱  
鬱  
鬱

## The sailor

---

あの日  
家へと帰る船で  
船先から見た  
あの星空

夏の終わりの  
肌寒い風  
なびく髪を  
抑える手

ゆれるピアスと  
決して揺らぐことのない意思  
生命の点滅を  
灯台に見る

帰路から始まる  
新たな出発

# Autism

---

受け入れ難い現実を切り刻み  
現実を攪拌する  
夢の泡は空中に漂い  
結合してシールドを形成する

もう誰も  
もう誰も  
触れられない  
近づけない

孤立  
孤独  
安全  
安心

## Incommunication

---

愛していたから  
一つになりたかった  
服が邪魔で  
服を脱がせた  
蒲団も邪魔で  
シーツを剥いだ  
身体さえ邪魔で  
溶かしてしまいたかった

けれど  
個体の壁は越えられない

人間の限界を知り  
泣いてしまった  
「どうしていじわるばかりするの」  
すると  
困惑するような  
しかし微睡むような声で囁いた  
「もう一つだよ」

...馬鹿な  
男って、どうしてみんなこんなだろう

# Mother

---

お金ではない

愛情が

ここに

## Legacy

---

受け継いだのは  
鳶色の瞳と  
そこに宿る強い意思

光が差し込むと  
余計透明だよ

## Fight for...

---

半径10歩の狂気の世界  
ワンダランドの真ん中で  
時間と空間を把握する術を忘れたみたいだ

自分の存在が  
とても稀薄で  
生きているのか  
それとも  
死んでいるのか  
確かめようとして  
壁  
衝撃  
わずかなラグと  
疼痛  
なんだ  
まだ  
生きているみたいだ  
自ら生命を絶った者の最期の意思を  
垣間見る  
でも  
僕は  
まだ  
戦いたいんだ



# Lunatic

---

午後9時  
いつもの帰り道  
薄い長袖を  
通る風  
漕ぐのを止めると  
車輪の回転音  
虫の声  
足許には  
涼やかで明るい影  
見上げた先の光源は  
うつくしく、高貴だ  
月を見ていると気が狂う  
なんて言った奴、誰だ

## Starve

---

この  
渇きにも似た  
求めて止まない気持ちを  
欠落した何かを  
探し求める気持ちを  
電話越しの  
あなたにぶつける

金曜の夜と  
一人きりのベッド

## Addict

---

甘いのか

苦いのか

それとも

辛いのか

素直な気持ちを通そうとすればする程

複雑さを増す香りと

それでも味見せずにはいられなくなる

そんな

蠱惑的な

声を聴いた

つまらなくなったら  
ダメになる前に  
少しの刺激を  
あとちょっとなら  
保存できると思うよ

## Trick or Treat

---

いつもだましてばかり

けれど

たまにはだまされたい

つまりは

そんなきまぐれか

## Protect

---

朝  
鏡の前では  
守護神への  
お祈り  
あるいは  
契約が

無口な革命家のルージュ  
弱気な悪魔のアイライン  
うそつきまつげじゃ  
泣けないでしょ

強くなくてもいい  
ただ  
思い込みたい

## Lost child

---

万物の根源に  
還る日まで  
この世で夢を見る

忘却された記憶は  
総てよみがえり  
真理が  
展開される

早く  
気付かなくては

## Delete

---

生命の維持に  
興味が無くなり  
ただ  
ベッドに身体を  
投げ出した

何も欲しくはない  
このまま  
小さく  
軽くなって  
消えてしまいたい

パラドクスに  
ひとり  
ちいさく  
わらう



## Little sinner

---

4歳のとき

とうさまについて行った病院

エスカレータ下のトイレに

一人で行った

とうさまは

わたしに

知らない人について行かないようにと

おっしやった

道は分かった

大丈夫

後は、戻るだけ

けれど

知らないおじいさんが

わたしを心配して

不躰な親切で

手をつないでくれた

わたしは

こわくて

こわくて

おじいさんではなく

約束を

破ってしまったことが

こわくて

とうさまに借りた

湿ったハンカチを

かえす手が

ふるえた

## What would you want to...?

---

カフェに  
行きたい

## Periods

---

相対的なこの世界で  
プラスとか  
マイナスとか  
ないし  
ゼロからの出発ていうのも  
ちょっと不正確

動き出す  
その一瞬の点だけが  
本物  
そんな点が積み重なって  
線になる

その線が  
プラスに伸びたか  
マイナスにくだんだかなんて  
死んじゃったあとに  
神様が決めることなんだ

## Thousand roads

---

飼っていた犬が  
死んだ  
皮膚の病気で

腐敗した膿の滲む体には  
深い穴  
そこから蛆が  
とめどなくあふれ

犬は  
苦しみながら  
むずがゆそうに  
きゆうん  
と死んだ

膿と傷と蛆でどろどろなのに  
なぜだか  
とても可愛い  
父は  
ぬいぐるみのようだと言って泣いた

犬と  
芳香剤と  
線香の  
甘い香りのするあの夏の夜を  
忘れられない  
忘れたくない

## Freak out

---

感情の混信  
不適切な出力  
微笑みは  
不自然に歪み  
涙は  
頬を伝う

嬉しくもないのに嬉しい  
悲しくもないのに悲しい

ただ  
そこにあるのは

吸気  
圧縮  
燃焼  
排気

ただ  
激情

## Baby, the lovely

---

にこにこと

ぽかぽかと

ふかふかと

もちもちに

幸せを

## Fly high

---

背中にある羽根を  
広げたくて  
うずうずしている  
そんな  
待ち時間

滑空する鳥たち  
今に  
見てろよ

## Until death do us part

---

罵倒しあいながら  
キスをする夫婦の方が  
罵倒も  
キスもしない夫婦より  
ずっと  
素敵だ



## Girl friend

---

思い出すのは  
60年代ムーヴィと  
スウェディッシュ・ポップの  
パジャマ・パーティ

ラヴェンダ・カラーの  
コットンキャンディみたいに  
甘くて  
優しくて  
可愛い  
彼女

大人になっても  
結婚しても  
ママになっても  
おばあちゃんになっても  
一番分かり合える女の子

いつか見た  
オードリーみたいに  
エッフェル塔に  
のぼろうね

## Rose loves vampire.

---

磁器のように  
繊細で  
透明な  
指先が  
花を1輪  
手折る

折られた花は  
彼の目を愉ませるが  
じきに  
しおれ  
かれる

繰り返される  
冷たい渴望  
甘美な花葬

それは  
きっと  
花か  
あるいは  
彼が  
滅びるまで

## Sexy driver with cigarette

---

時速140kmの  
黒いスポーツカー  
わたしはいつも  
助手席

左手には  
太いステアリング  
右手には  
赤のマルボロ

慣れた手つきで  
滑らかに走る

運転中が一番素敵

わたしの  
だいすきな  
おねえさま



一つ一つ  
増殖していく  
毒蜘蛛

不気味なデザイン  
不安なカラーリング  
そんな感覚とは裏腹に  
魅せられる  
惹かれる  
目が離せない  
そう  
人間は  
単純ではない

張り巡らされた  
透明なストリング  
光を受けて  
きらきら輝く

気付かないうちに  
捕獲  
気付いてもがいても  
もう遅い  
ゆっくりと手繰り寄せ  
捕食

ああ  
黒い

## Decade

---

打ち立てたるは  
自分への挑戦

振り返るな  
切り捨てろ  
足をとられても  
腕をもがれても  
くれてやれ  
いずれ  
生えるさ

思い返せば  
血と涙で  
汚れた道  
けれど  
後悔のない  
清々しい  
私らしい  
道

## Treasure

---

知ってる？

炭と

ダイヤモンドは

同じものでできている

触ると汚れそうな真黒も

懸命にプレスすれば

硬く

透明に

輝く

人工であっても

輝きは同じ

まして

真価を見抜けるのは

己のみ

## Trip trap dreamy

---

酔っぱらったみたいに  
甘い  
このまま  
溶けて  
消えてしまうのだろうか

幻想  
幻惑  
眩暈

定立したはずの  
概念の  
か け  
ら  
が 漂う

構築されたはずの  
論理は

能不明証

わたしの脳が  
嘘をつく



静寂の中の電子音  
モニタにグラフ化された生命  
身体には、幾筋ものチューブが繋がれ  
機械と連結する

人と  
人でないものの狭間  
生と  
死の狭間

そう  
ここは  
コクピット

青白く、昏い  
蛍光灯が震えている

## Tiny,tight,tired

---

きつく

きびしく

自分を律して

がんじがらめに

縛っている方が

安心できる

まるで

ちいさなこどもが

つよく

抱きしめられていたいと

望む

ように

## In a moment.

---

秋の空  
浮遊する、重厚な白

一瞬にして  
連想するは  
古代バビロニアの神秘  
天空の城

その発想は  
瞬時に消え  
連想するは  
閉じられた天球  
青と白の壁画  
即ち  
閉塞

ランダムな思考  
自由な着想  
これこそが  
人間の証

## Lady Fox

---

あんなにも  
好きだったのに  
終わりはあっけない  
計画的で  
冷静だ

メールは全てデリート  
とても清々しい  
薬指に違和感はあるけれど  
じきに慣れる予感が

好き  
と  
嫌いになった訳じゃない  
の  
差は明確だ

そのことに  
気付いているか？

## Fair trade

---

この世は全て  
交換の等価関係で成立している

お金が欲しくて労働を差し出し  
パンが欲しくてお金を差し出す

愛が欲しければ同等の愛を  
友が欲しければ自ら近づく努力を

人魚姫だって  
脚が欲しくて  
声を失った

けちんぼの  
よくばりは  
将来  
大きな利子つきでの返済が  
待っている

## Examination

---

正義の刃を

自分に向けられるか

## My first-aid kit

---

手許には  
いつも  
薔薇の模様のお菓子箱

普段は我慢している  
けれど  
つらい時には手が伸びる

あまい  
あまい  
ミルクチョコレートは  
やさしくわたしを包み込む  
少し  
酸っぱい  
ビターなカカオのチョコレートは  
わたしの気分にシンクロする

舐める  
とろける  
染み込む

傷口が  
甘ったるく  
どろどろになってゆく

つらい時は  
甘いものに慰謝されるのが一番だと  
信じて止まない

## Angel's song

---

そこにあるのは  
生きた跡形  
人の形の器

わたしが好きだった  
優しい目  
その目が開くのは  
もう  
夢の中だけ

わたしは一人  
微笑みながら  
悲しいうたを  
朗々と  
うたう  
今は只  
悲しいうたを  
朗々と  
うたう



## Hello, good-bye

---

出逢っては  
別れ  
繋がっては  
離れる

接続  
同期  
解除

僕の一部が  
その度に  
少しずつ  
欠けてゆく

代わりに  
誰かの一部が  
僕に同化する

素敵に  
やっかいな  
繰り返し

僕は一体誰だろう？

## Scab

---

はやく元に戻りたい  
そう思って  
会ってみたけれど  
まだ  
早かった

剥がすのに失敗した  
かさぶたのように  
少し  
傷ついた

痕になるのは  
耳に残る掠れた声  
エゴと寂しさ  
わだかまり

## Eve's emancipation

---

貴女は  
誰かの肋骨なんかじゃない  
個人の尊厳は  
不可侵だから

顔なんて隠さないで  
自由に意見して  
行きたい場所へ  
ドライブできる

誰もが  
自由な  
人間

女である前に  
人間

## The rise and fall

---

12時の鐘

解けた魔法

ほつれたドレス

片方の靴

でも

お願い

その手だけは

離さないで

## Raining

---

かすむ視界を  
自ら遮断  
暗闇が  
展開される  
そして  
浄化の雨

・  
・  
・  
・  
・

いつからだろう  
人前で  
泣けるようになったのは  
いつからだろう  
我慢をしなくなったのは

14歳  
オフからオンへ  
一瞬の  
反転

以来  
スイッチは入ったまま  
折れたツマミ  
そのままに

降りやまない雨  
すべてを流して

## Taboo

---

そんなことが  
何の役に立つのか  
などという問いは  
実に  
怖ろしいものだなあ

なぜなら  
それは  
禁忌の呪文  
自分の存在意義を否定しかねない  
禁忌の呪文

## Sleeping Beauty

---

寒い朝  
素肌でくるまった毛布  
すべすべと  
あたたかくて  
とても  
心地がよい

このまどろみは  
最高に憎らしくて  
最低な愉しみ

眠り姫は  
本当は  
くちづけなんて  
欲しくはなかったって  
信じたくなる

## Still Alive

---

未だ知らない

諦念の色



# Marionette

---

夢から醒めた  
夢を視る  
青い光に操られ  
踊る舞台  
神の掌

切れない意図を  
見定めろ

## I still ciing to my life.

---

そびえ立つ  
時計塔  
壁伝いに見上げると  
まるで  
空へ墮ちてしまいそうだ

天使の羽根より  
蝙蝠の足を  
僕は望もう

## Slow jazz night

---

こんな月夜は  
琥珀のグラスと  
ピアノ・トリオ

大人しいけれど  
時折みせる  
大胆なアレンジ

そして

スウィング  
スウィング  
スウィング

## Blue bird little

---

鍵の在り処は  
身近なところに  
強く願う  
唯、それだけ

## Weak point

---

私の  
弱い部分まで  
全部知っているのは  
貴方だけだから  
本当  
仕方がないよね  
厭になる

## Child hood

---

カラスの鳴き声と  
夕陽のオレンジ  
鉄棒の影が  
平行四辺形を作る

まだ明るい  
まだ陽は落ちない  
暗闇の夜が  
いつか訪れるとは  
信じられない  
こどもたち

時が進むこと  
年が重ねられること  
大人になることを  
信じられない  
こどもたち

けれど  
切り取られた時代のループから  
いつか  
離脱するだろう

僕が  
そうだったように

## The winner

---

飛ぶ鳥の  
羽根が挽がれたからといって  
動けない訳じゃない  
その足で  
動くことは出来る

ひよっこり  
ひよっこり

滑稽でも  
痛々しくても  
動いた者勝ちだ

嘲笑ったり  
目を背けたりしているうちに  
追い抜かれちゃうよ

## Twilight philosopher likes his loneliness.

---

暗くなりかけた  
カクテル色の空に  
金星が瞬き

\*

バッカスの饗宴に  
アフロディテは誘惑する

美しの刹那に  
一人、想う



## Litghten the criminal procedure

---

漆黒の  
闇の中にある潔白を  
探し当てる光  
暗闇を  
弾劾する光

そういうものに  
私はなりたい

## Strip girl

---

女の子は  
大人しく  
お淑やかにしていなさいなんて  
馬鹿じゃないの

私は  
隠さない  
私は  
怯まない  
私は  
意見する

それが  
表現の自由というもの  
それが  
民主主義というもの

偏見に凝り固まった  
エロおやじが  
一番  
始末が悪い

## Weather news

---

とりとめもない考えが  
浮かんで  
ただよって  
集まって  
雲になる

雲はいつしか  
雨を降らせる  
それは  
時には悲しくて  
時には嬉しくて  
時には驚いて  
時には安堵して

雨が止んだら  
心が  
気持ちが  
すうっと  
はれわたる  
明るく  
そして  
やさしくなれる

今日のあなたはどんな天気？

r=1m

---

男と女だからといって  
全て愛情のスケールを用いる必要はない

ただ  
一緒にいると楽しい

ただ  
会えたら嬉しい

ただ  
好き

それだけでも  
良いではないか

それは  
シフォンのスカーフのように  
薄くて  
軽くて  
ぼんやりしていて  
それでいて  
美しいもの

私は  
そんな  
ヴェールみたいな関係を  
やぶいてしまいたくない  
それだけ  
ただ  
それだけ

# Trinity

---

幼かった頃の  
私たちは  
もっと似ていて  
もっと単純で  
もっと別々だった

けれど  
互いにぶつかったり  
外界の風に晒されたりするうちに

打たれ  
へこみ  
折れて  
圧縮された

私たちは  
もっと違って  
もっと複雑で  
もっと1つになった

そうか  
私たちは  
世界にたった1つの  
最も強固な  
パズルのピースになったのか

父と母に感謝しよう

## Love me tender

---

好きな人には  
守られるより  
壊されたい  
壊される程に  
愛されたい

そうやって  
嫌なこととか  
粉々になったガラスの破片とか  
全部  
夜の空へと  
放り投げて仕舞えば良い

空へ空へと  
放り投げて  
きらきらに  
して仕舞えば良い

# Nightmare

---

綺麗な言葉を追いかけて

眠りにつく

美しい夢が

みられるように、と

それでも

ささやかで

浅はかな

私の願いは

なかなか

叶えては貰えない

馬鹿馬鹿しい

けれど

非常なりアルで

その夢は

ひどく私を

ふるえさせる



## Beat bitter November

---

信じられないくらい  
悲しくて  
寂しくて  
みじめだった

風も  
レザーのジャケットも  
すべて  
冷たい  
11月

曇り空は  
振り返らない

大音量のiPodを  
ドラッグみたいに  
くりかえす  
ドラッグみたいに  
くりかえす

## Innocence

---

素直だったのか  
世間知らずだったのか  
とにかく  
それは  
僕を苦しめた

おかげで僕は  
大人を知り  
大人になった

けれど  
疑心暗鬼のお花畑に  
捕われたままだ

## Tear drops of the chained doll

---

壊れた玩具なのに  
捨てずに  
置いたままで  
構いもしないで

貴方は  
優しいんじゃないくて  
残酷だ

捨てられた方が  
いっそ楽なのに  
繋がれたままで  
去りもしないで

## Tactics

---

折れ易いなら  
打たれ強くなるも一手  
折られない様  
躲すも又一手  
されど  
打たれても良いと  
捨て身になって  
打つかって往くも  
又一手  
か

## Under conditions of high anxiety

---

それは同情？  
君が淋しそうだったから？

それは同情？  
あたしが泣いていたから？

それは？

疑問符の鎖でできた吊り橋で  
勘違いに揺さぶられて

結局は  
そんな惰性  
そんな慣性

ゆらゆらの  
ふわふわの

## Fire works

---

目立って

輝いて

騒いで

感動させるには、

意外と地味な作業と努力

それに計算が

必要だってこと

## Court of justice

---

悪いことをしたら  
捕まって  
裁かれるんだよ

何が悪いこと？  
誰が決めるの？  
誰が裁くの？  
人が、すること？

形式的な理由は  
了解している  
けれど

なに？  
なぜ？  
だれ？  
が  
今さら  
今さらになって

違和感を抱いて  
今日も

## Little YOU

---

君はいつでも  
そうやって  
何かを作ってくれたり  
何かを直してくれたり

照れくさいから  
ありがとうにも  
素気ないけど  
優しくて  
思いやりがある子だって  
知ってるよ

そのうち  
もっとたくさんの人を  
治したり  
時には  
看取ったり  
するんだね

強くて弱い  
君だけど  
きっと  
できるよ  
知ってるよ



## To be, or not to be : that is NOT the question.

---

手首には  
幾筋もの  
革命家たちの行進した痕があるけれど  
すべて  
失敗  
それで  
良いんだ

生きていけば  
生きてさえいけば  
次に  
繋がる  
リセットするには  
早すぎる  
続けるんだ  
それだけだ

## Flavor of xxx

---

嘘の溶け込んだキスは

とてもまろやかで

惰性と調和の

味がする

## Hide and seek

---

ばればれで  
みえみえなのは  
気付いて欲しいから  
かくれんぼは  
上手に隠れすぎると  
つまらないから

女の子は  
ずるい

## Confession

---

もう止めようと  
封印したのは  
私の願い

それなのに  
疼く想いは  
業の深さ故

何度も  
何度も  
言い聞かせて  
閉じ込めた  
願いは  
成就しないことが  
願い

バックミラー越しの  
祈りの角度  
口許で  
クロスした指  
そして  
もうこぼれない  
涙

## Open your eyes

---

知らない世界に飛び込んで  
生々しさに触れる度  
少しずつ  
蝕まれていく気がして  
こころが少し  
重たく沈む

けれど  
それは現実で  
向き合うべき現実で  
知らなかったただけだから

目を見開いて  
受け止めて  
考えなければ

透明な気持ちのまま

## Idiot

---

賢いフリをして

毎日

馬鹿みたいなことを繰り返す

毎日

馬鹿みたいに怒られる

下らないことに

いちいち落ち込んで

反省している

些末な事を

いちいち気にして

溜息をつく

愚か者よ

<結果ではなく，過程>

反省も溜息も

総て喰らいつくして

のし上がれ

## Rapid, rabbit, jump jump jump.

---

時間に追われて  
なにか  
どこか  
こころが  
がさがさしている

漠然と不安  
漫然と経過

灰色の瞳  
むらさきの月  
ティーパーティと  
仕事  
仕事  
仕事

## I belong to...

---

ぐるぐるのループから飛び出して  
また次のぐるぐるへ

それが社会に生きるということ  
それが社会に定着するということ

そのうち  
バタになって  
とけて  
なくなる  
6匹のトラ



## Quest

---

今までずっと  
正しいと  
信じてきたものを  
否定されて  
どうしたら良いのか  
分からなくなって

無重力の中で  
置いてけぼりの  
わたしの  
心臓

## City light

---

ビルの間隙にしがみついた  
赤と白のクレーン  
駆け上がって  
星を掴む  
夢をみる

手を伸ばせば  
その手に届くかも知れないから

冷たい空気が  
希望を増幅させて  
火照った頬に  
そっと  
触れる

大人になった12月  
もう戻らない12月

## Scent of you

---

消えて往くのは  
ふるえたままで  
諦めのつかない  
物想い

消えてしまうのは  
虚勢をはって  
忘れてしまった  
1つのため息

可愛い顔には似合わない  
金の細工の  
ジッポのライター

一瞬  
瞳の中に見えた  
不安と揺らぎ

とらえられて  
みつめられて  
はなれない  
はなさない

ずるい  
ずるい  
君と  
その瞳が

## What the hell is going on

---

引っ掻いて  
噛みついて

爪を立てて  
牙を剥いて

混乱の中の  
必死の抵抗は虚しい

踊らされて  
踊りつかれて

全部  
バイオリズムの所為にして  
ふて寝しよう  
もう  
最悪だ

## Stand up

---

その目がどんなに  
悲しい色を映しても  
その耳がどんなに  
つらい思いをとらえても

現実  
は  
止まない

止まないからこそ  
これからを  
変えることができる

大事な  
のは  
立ち上がろうとする  
その意志  
この現実  
に  
鈍麻する前に  
動き出そう

## Somethin' sweet, somethin' cute

---

かさをさして  
水たまりを気にしながら  
ワンピースの裾がぬれないように  
そろりと歩く  
アスファルトとか  
少しずつ  
ぬれてすべって  
足にくい込む  
細いサンダルストラップとか  
愛でる可き  
女の子

## Pure poor foolish

---

ウソを知らない淡水魚

事実の海で

溺れて

はねた



## Firefly

---

暗闇の中  
タバコの灯が  
蛍みたいに  
ちか、ちか、

惹きつけられて  
煙にむせんだ未成年

百害あって一利なし  
分かっているけど止められない  
中毒患者の小さな文句

## Night shower

---

死ぬまでに  
あと何回  
雨は降るだろう  
あと何回  
この道を  
歩くだろう

はねる水滴と  
緑の信号  
濡れて光る  
アスファルト

降り込める雨と  
夜と  
水溜まり

## True black

---

私の  
乱れたところを  
塗りつぶして  
真っ黒に  
塗りつぶして  
否定する

ぶれない様に  
染まらない様に

私は  
私でなくなる一切のものを  
拒絶する

## Real

---

どこまでが  
現実で  
どこからが  
夢で  
どこまでが  
本物で  
どこからが  
贋物なのか

どうして  
分かる  
どうして  
分かる

どこまでが  
善で  
どこからが  
悪で  
どこまでが  
本物で  
どこからが  
贋物なのか

だれが  
分かる  
だれが  
分かる

きれいごとの

神聖さを

私はまだ

信じている

## Catch the trigger by the toe.

---

浮かんでは消える

うたかたの

言の端を

とらえて

射抜いて

くりかえす

たいせつなものを

壊して

創ろう

表現と解放の詩